



22.7.16.最新

The 35th Osaka Mayor's Cup Yacht Race 2022

第 35 回大阪市長杯ヨットレース 2022

SAILING INSTRUCTIONS (帆走指示書)

Organising Authority (OA): (一社) 大阪北港ディンギー

1. 規則

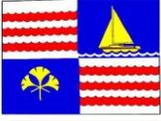
- 1.1. 本大会は『2021-2024 セーリング競技規則』(以下『規則』という)に定義された規則を適用する。
- 1.2. 感染症拡大の状況により、NoR 公開以降に変更が必要になる場合がある。このため、NoR と SI の内容が競合した場合、SI を優先する。これは規則 63.7 を変更している。
- 1.3. 本大会に適用される全ての規則において、[SP] [NP]の表記は以下を意味する。
 - 1.3.1. [SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。
 - 1.3.2. [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a)を変更している。

2. 帆走指示書の変更

- 2.1. レース日程の変更は、それが発効する前日の 20:00 までに大会エントリーサイトに掲示される。また、帆走指示書の変更は、それが発効する当日の大会公式掲示板に 10:00 以前に掲示される。

3. コミュニケーション

- 3.1. 公式掲示板は、大阪北港ディンギークラブ室近くの壁面に設置する。競技者とのコミュニケーション、通告等は、この掲示板を通じて行う。



4. 行動規範

[DP] 競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。大会への参加にあたり、感染症拡大防止に関する以下の項については十分ご注意ください。

22年7月10日現在、屋外でも距離が確保されていればマスクは着用しなくてもよいとされています。しかし、感染症が再拡大の傾向にあるため、ブリーフィング等で集合する場合は、熱中症に十分注意をしたうえでマスクの着用、または適切な距離を取ることをお願いします。

4.1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止についての参加条件（NoR より一部更新して掲載）

4.1.1. 本大会 選手、コーチ・サポーター、運営スタッフ、大会に関わる全ての者は、各艇の代表者宛にメールしたフォームにオンラインの感染症拡大防止のための調査の入力を行うことで、大会会場に入ることができる。（4:00～開始、9:00 終了）

感染症拡大防止のための調査 URL : <https://forms.gle/XD8Bn9nLq9Y96HGU7>

（この項は NoR より変更しており、この SI の内容が優先される。）

体温測定表は当日受付に提出する必要はありませんが、感染症拡大の状況によっては、提出をお願いする場合があります。

4.1.2. 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。

- ・ 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

4.1.3. マスクを持参すること（陸上で競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）

4.1.4. こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施

4.1.5. 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること（できるだけ 2 m 以上／障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）

4.1.6. 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと

4.1.7. 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと

4.1.8. 大会終了後 1 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

5. レガッタフォーマット

5.1. 本レガッタは 1 フリートの全艇一斉スタートで行われる。



6. スケジュール

6.1. レース日程

日付		時刻
7月17日(日)	選手受付	9:30 - 10:30
	開会式・ブリーフィング	10:30
	予告信号	11:55
	表彰式	16:00

6.2. レース数は1レースとする。

6.3. 気象状況によりスタートが延期された場合、予告信号は、14:00より後には発しない。

7. オレンジ旗及びクラス旗

7.1. オレンジ旗は、レース予告信号の少なくとも5分前までに掲揚される。

7.2. スタートに用いる信号旗は、各クラス共通で、以下の通りとする。オープンヨットレースのため規則を整理して掲載。この項は規則を変更していない。

Minutes before starting signal	Visual signal displayed / removed	Sound signal	Means
	オレンジ旗 数字旗	 掲揚	1声 5分後以降に予告信号を掲揚 当日のコースを示す数字旗を掲揚
5	大阪北港ヨット ハーバー旗	 掲揚	1声
4	I旗	 掲揚	1声 SI Addendum C 参照。
1	I旗	 降下	長音1声
スタート	大阪北港ヨット ハーバー旗	 降下	長音1声
	X旗(スタート 信号降下と同時 に掲揚)	 掲揚	1声 I旗適用スタートのためスタート信号1分 前以降スタートラインよりコースサイドに 出ている艇はOCSと記載される(A10)。
	第一代表旗	 掲揚 降下	2声 1声 スタートのやり直し 降下1分後に予告信号掲揚
	AP旗	 掲揚 降下	2声 1声 スタートの延期 降下1分後に予告信号掲揚



8. コース・エリア

コース・エリアの場所を SI Addendum A に示す。

9. コース

9.1. SI Addendum B の見取り図はレグ間の通過するマーク・**鉄塔**の順序及びそれぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

9.2. コースの短縮は行わない。これは規則 32 を変更している。

10. マーク

10.1. マークは、次の通りとする。

スタートピン(アウター)	Mark 1,3, 4,5	Mark 2	フィニッシュライン
Orange 直方体柱形	Orange 球形	Yellow 球形	青旗を掲揚したレース委員会船と Orange 直方体柱形 の間

10.2. スタート・マークとフィニッシュ・マークはレース委員会艇か、インフレータブルマークである。

10.3. Mark 2 は、レース当日の風向により、Mark 1 との位置関係が変更される。SI Addendum B の見取り図に具体的に示す。

11. スタート

11.1. スタート・ラインは、スタート・マーク上のオレンジ色旗を掲げたポールとスタートピンマークの、コースサイドとの間とする。

11.2. スタート信号後 4 分後以降も、一定時間オレンジ旗を掲揚し、スタートラインは継続する。DNS とは記録されない。これは、規則 A5.1 及び A5.2、A10 を変更している。

12. コースの次のレグの変更

12.1. コースの次のレグの変更は行わない。

13. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインはフィニッシュ・マーク上の青色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークのコースサイドの間とする。

14.ペナルティー方式

14.1. 規則 42 違反に対し、付則 P を適用する。



15. タイム・リミットと目標時間

15.1. タイム・リミットと目標時間は以下の表のとおりとする。レースエリアは本船航路でもあるので、スタート後2時間を経過してフィニッシュしていない艇は、曳航し帰港させることがある。

クラス	Race Time Limit	Mark 1 Time Limit	Finish Window	Target Time
各クラス共通	120	40	15.3.の通り。 ※先頭艇フィニッシュを起点とする 時間制限は設けない。	60

15.2. マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、そのレースは中止する。

15.3. 先頭艇フィニッシュ時刻を起点としたフィニッシュウィンドウは設けないが、15.1.の通り、スタート後2時間を経過した時間制限を適用する。時間内にフィニッシュしない艇はDNFと記載される。この項は規則35とA4、A5を変更している。

15.4. 目標時間通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは規則62.1(a)を変更している。

16. 審問の要求

16.1. 抗議は受け付けない。

16.2. 必要と認められた場合、レース委員会、またはプロテスト委員会による抗議を規則61.1(b)に基づき伝えるために公式掲示板にて通告する。

17. 得点

17.1. 大会の成立には1レースを完了する事が必要である。

17.2. 各艇のフィニッシュ時刻をもとに、スタートからフィニッシュまでに要した時間を算出し、艇種ごとにOAが定めたヤードスティックナンバーにより修正時間を算出する。順位および得点は、この修正時間をもとにして、クラスごとにつけられる。

18. [DP] [NP]安全規定

18.1. 本大会はチェックアウトチェックイン及び、DNC報告、リタイア報告を指定場所にて行う。

18.2. [SP] チェックアウトチェックイン

18.2.1. レースに参加しようとする競技者は、予告信号時刻までにチェックアウト記入欄に艇長がサインをしなければならない。また、レースに参加（出艇）しない艇は、予告信号時刻までにチェックアウト記入欄にその旨記載しなければならない。



22.7.16.最新

18.2.2. 帰着した艇の艇長は、帰着後速やか（出来るだけ早い機会）に、また、その日の最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分以内に、チェックイン記入欄にサインをしなければならない。

18.2.3. 海上でリタイアした艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前にレース委員会艇にその旨を伝えること。伝えられなかった場合、陸上帰着後速やか（出来るだけ早い機会）に、陸上本部に伝えること。

18.2.4. 一度ハーバーに帰着した艇（SI18.2.2）及び、SI18.2.3 のリタイア報告の手続きを行った艇が再度レースに参加しようとする（出艇する）場合、競技者は再度チェックアウト記入欄にサインをしなければならない。

18.4. レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。

19. [DP] 乗員の交代と装備の交換

19.1. 競技者の交代は、エントリー時に申請している競技者から変更がある場合は、レース委員会に書面またはオンラインにて伝えることで許可される。また、レース公示の制限を遵守しなければならない。

19.1. 損傷または紛失した装備の交換はレース委員会の承認なしで許可される。

20. [DP] 装備と計測のチェック

20.1. レースエリアは非常に水深が浅いため、マストトップに浮力体をつけ、出艇およびレースに参加すること。浮力体として機能する物なら、大きさや形状は問わない。外れないようきちんとロープ等で取り付けること。

21. 支援艇

21.1. 支援艇は、危険な状態にあるボートからの救助要請により救助を行うか、プロテスト委員会またはレース委員会の要請がない限り、準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュまたはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの 100m 以上外側にいなければならない。

21.2. 支援艇は、密を避ける人数しか乗艇してはならない（6m 以下の場合、2～3 人）。

22. ゴミの処分

ごみは支援艇またはレース委員会艇に渡してもよい。



23. 停泊

参加艇は大阪北港マリーナのバースを利用すること。但し、支援艇は大阪北港マリーナ以外に停泊しても良い。

24. リスク・ステートメント

規則 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。



SI Addendum A COURSE AREAS





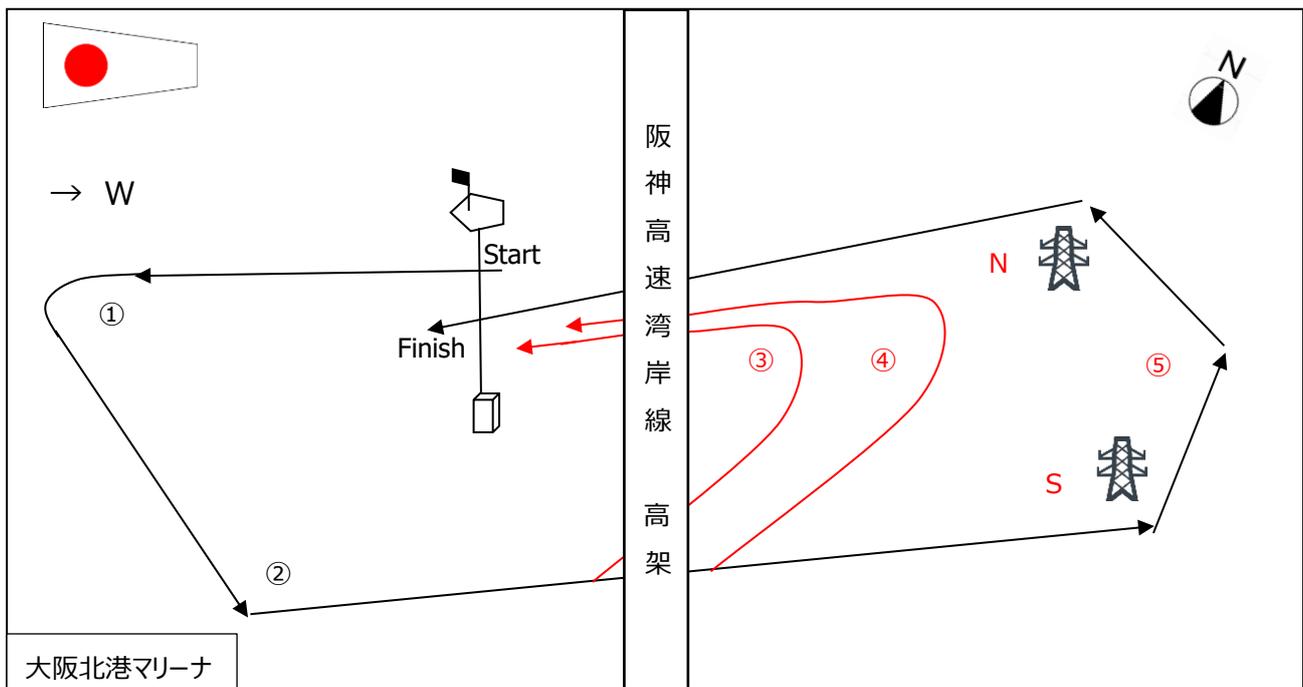
SI Addendum B COURSE ILLUSTRATION

マークを回る順序については、以下のとおりとする。

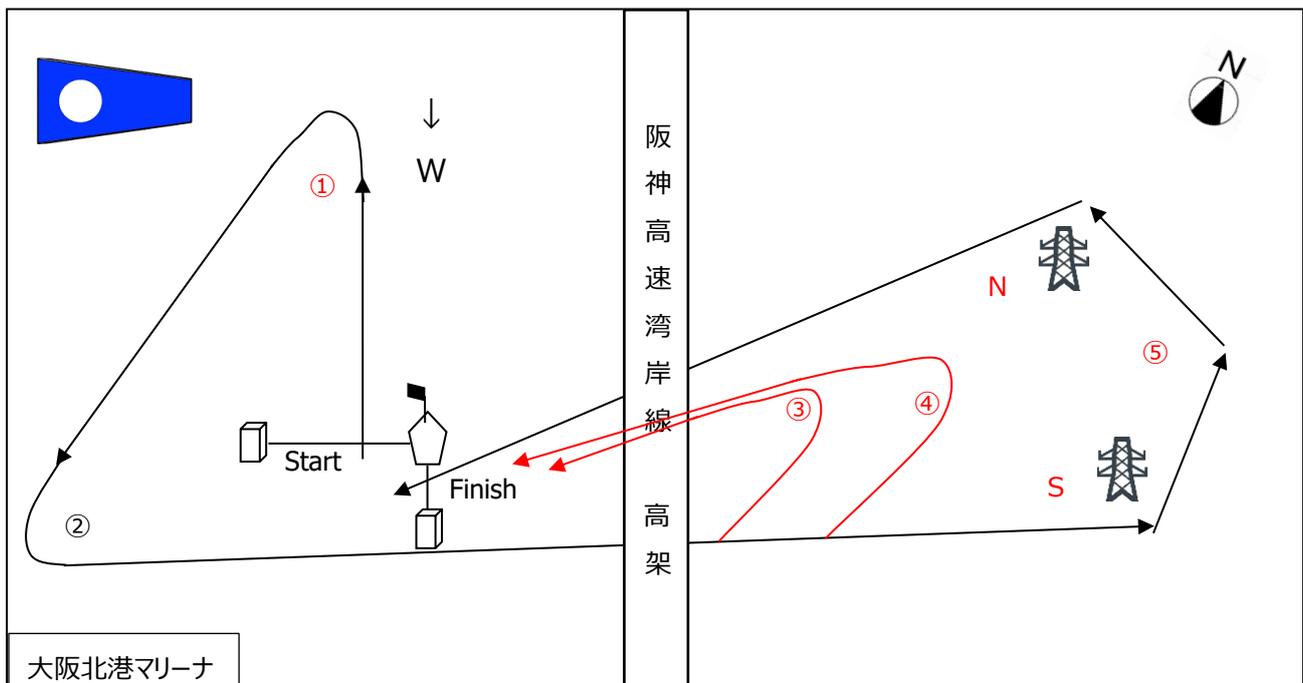
クラス	コース
オープン A	Start → ① → ② → ③ → Finish
トッパー	Start → ① → ② → ④ → Finish
シカーラ	Start → ① → ② → 鉄塔 S → Finish
オープン C オープン S	Start → ① → ② → 鉄塔 S → ⑤ → 鉄塔 N → Finish

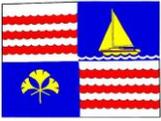
建造物（鉄塔）を回るコースであり、風向によりコースレイアウトが異なるので、以下に示す。

※おもに沖合（西風）からの風の場合 **数字旗 1 の掲揚**

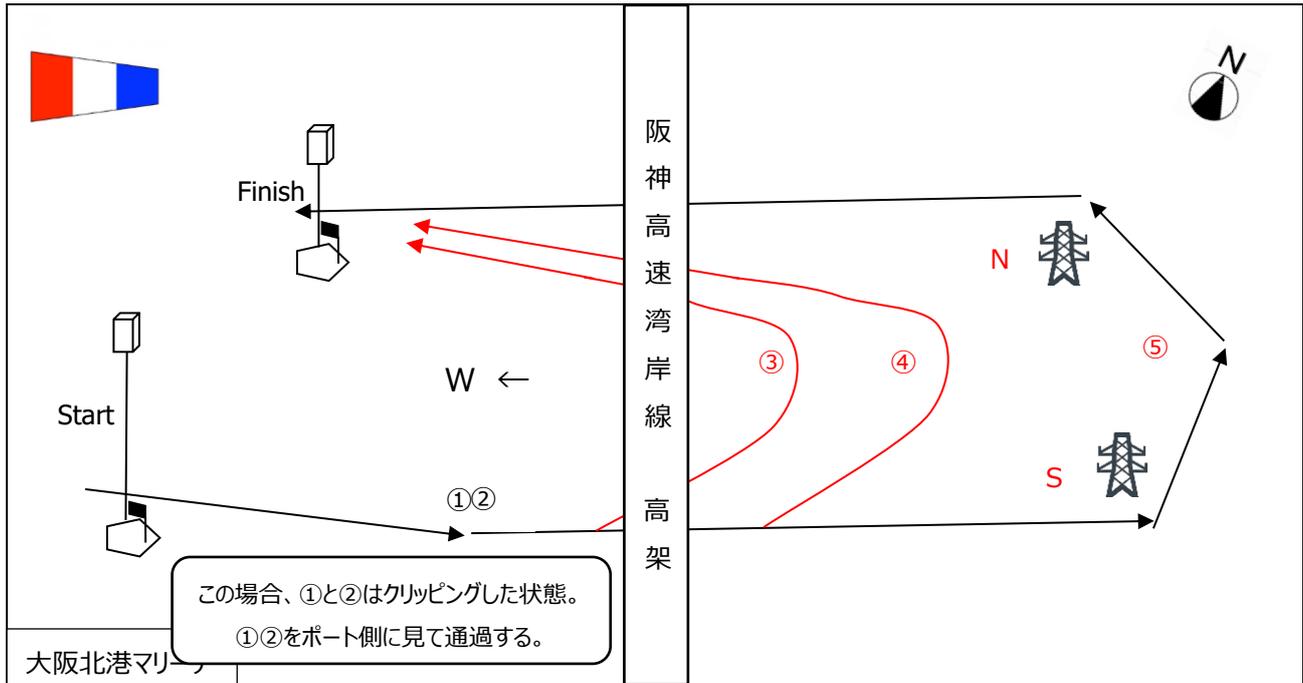


※おもに尼崎方向（北風）からの風の場合 **数字旗 2 の掲揚**





※おもに大阪市内方向（東風）からの風の場合 **数字旗3の掲揚**



SI Addendum C

準備信号に I 旗が適用されるスタートの確認のために掲揚 ※この項は規則を変更していない。

規則 30.1 I 旗が掲揚され、スタート信号前の1分間に、艇体がスタートラインまたはそのどちらかの延長線のコースサイドにある場合には、スタートする前にその艇の艇体がスタートラインの**延長線**を横切り、プレスタートサイドまで完全に戻らなければならない。

①

